



西六小通信



令和7年11月28日発行 第8号

大田区立西六郷小学校

校長 明石 達也

TEL3732-9611 FAX3732-9613

<https://www.ota-school.ed.jp/nishirokugou-es/>

「学芸会を終えて」

副校長 西村 麻美

最後の学芸会が終わりました。15日は保護者、地域の方など計870名の方に観ていただき、こどもたちはとても嬉しそうでした。保護者アンケートは116件のご回答をいただきました。大きな舞台に立ち、一人一人が声や動きで精一杯表現する劇をつくり上げるにあたっては、こどもたちの様々な思いがあったことと思います。それを支えてこられた保護者の方の思いが文面からひしひしと伝わってきました。なりたい役になれなかった悔しい思いから気持ちを切り替えて頑張る姿、家で毎日セリフや歌を練習する姿、友達や他の学年の素晴らしさを熱く語る姿、裏方として自分の役割に責任をもって取り組もうとする姿…こどもたちの様々な姿を各御家庭で支え、励ましてくださったことで最後の学芸会にふさわしい行事にすることができたのだと思っています。アンケートには、最後の学芸会となることを惜しむ声が沢山寄せられました。また、「こどもたちが力を発揮できる行事や授業に期待します。」という声もいただきました。西六小は、こどもたちの「未来を創る力」の育成に、より一層力を入れて取り組んでいきます。

さて話は変わりますが、皆さんはこども時代にどのような思い出があるでしょうか。毎年卒業シーズンになると6年生が小学校の6年間で振り返って思い出を語ったり、卒業文集に記したりします。行事や移動教室はこどもにとって特別な体験のため、特に語られることが多いですが、中には日常の出来事やその時々を思い出を振り返って言葉にする子もいます。先日、89歳の卒業生の方が学校を訪ねて来られました。その方が3年生だった昭和20年4月、B29による空襲で西六郷小学校の校舎が消失し、多摩川の土手にしばらく避難した後、他県に疎開されたそうです。それ以来80年ぶりに西六郷小学校を訪ねて来られたのです。今の3・4年生昇降口辺りの校舎入口前に二宮金次郎像があったとおっしゃるので、「今もありますよ。」とご案内しました。そのときの木造校舎は燃えてなくなり、当時あったものは何も残っていないだろうと思っていたけれど、思いがけず二宮金次郎像が残っていたことに感銘を受け、涙を流されていました。そのお姿を通し、当時3年生に進級して間もなかった少年のやるせなさ、悲しみ、そして80年間忘れずにいた母校への思いを感じ、二宮金次郎像だけでも残っていて本当によかったと思いました。

西六小は創立して今年で92年です。卒業した児童数は計11,090名。西六小を卒業していった方にも卒業できなかった方にも様々な思い出があることでしょう。その時々一生懸命に指導にあたられた沢山の教職員の方々のご努力の積み重ねが今の学校をつくっています。学芸会という行事の歴史は終わりますが、私たちは、今こどもたちに必要だと思う教育に精一杯尽力し、新たな歴史を切り拓いていきます。

わくわくフェスティバルについて 小学生駅伝大会

12月9日(火)にわくわくフェスティバルがあります。わくわくフェスティバルは、縦割り班で活動するイベントで、各チームごとに遊びを考え、お店屋さんのようにして各教室を回っていきます。遊びの例としては「さかなつり」「もぐらたたき」「コイン落とし」「昔遊び」「ボーリング」などです。今は6年生を中心に遊びについて話し合いをしたり、必要な道具を作ったりしています。

1年生は初めてのわくフェスですが、成功させようと意欲的に取り組んでいる姿が見られます。そして6年生は、小学校生活最後のわくフェスです。どの学年も協力して、楽しい思い出となるよう準備を進めています。

わくフェス担当

12月13日(土)に第14回小学生駅伝大会があります。西六郷小学校からも5・6年生の16名が代表として参加します。

本大会は、スポーツ健康都市宣言のまちの実現を目指し、大田区立学校教育の一環として、小学生の体力向上に関する取組の成果を発表することを目的として実施されています。今年も会場は、大田スタジアムになりました。

こどもたちは大会に向け、お互いに切磋琢磨して練習に取り組んでいます。苦しいときには「頑張れ」、「腕を振って」など声を掛け、励まし合っています。

・西六郷小学校は午後の部です。

[開会式 12:25、ロードレース 13:20 予定]

ご声援をよろしくお願いします。

駅伝担当

12月

の予定



- 1日(月) 生命尊重週間始
個人面談②
安全指導
- 2日(火) 個人面談③
学芸会再演(3年)
宿泊前検診(四組)
- 3日(水) 駅伝合同練習
合同移動教室(四組)
- 4日(木) 個人面談④ ※個人面談週間終
合同移動教室(四組)
- 5日(金) 生命尊重週間終
合同移動教室(四組)
ジャイアンツアカデミー(3年)
- 6日(土) 管楽器合唱合同演奏会
- 7日(日) 校庭開放 13:00~15:30
- 8日(月) わくフェス準備(4~6年)
(クラブ:わくフェス延期の場合のみ)
- 9日(火) わくわくフェスティバル
- 10日(水) 水曜補習③
- 11日(木) 卒業アルバム撮影(6年)
- 12日(金) 校外学習(四組)
- 13日(土) 小学生駅伝大会
- 15日(月) クラブ活動 わくフェス準備(予備)
- 16日(火) わくフェス(予備)
避難訓練
- 17日(水) 水曜補習④
- 20日(土) 校庭開放 13:00~15:30
- 22日(月) 笑顔と学びの体験プログラム(5年)
- 23日(火) アレルギー会議
- 24日(水) 給食終
- 25日(木) 終業式 防犯教室 大掃除
- 26日(金) 冬季休業日始

※個人面談実施日は、全学年5時間授業です。

※3学期始業式は、1月8日(木)です。

午前授業で給食はありません。

下校は12時10分頃となります。

※給食開始は、1月9日(金)です。

6年 デフリンピック観戦

皆様、デフリンピックをご存じでしょうか？

デフリンピックとはDeaf(耳が聞こえない)人たちのための国際的なスポーツ大会です。2025年は東京都の開催で大田区総合体育館ではバスケットボール競技が行われていました。

11月20日(木)に6年生は観戦に行きました。応援ボードを準備し、応援のための手話も覚えての観戦です。会場に入ると女子の台湾対トルコ戦が始まっていました。ゲーム中は選手の皆さんはハンドサインとアイコンタクトで連携を組んでいます。静かかと思われた試合も自然と拍手や歓声が沸く熱戦でした。一流選手のプレイをライブで見る素敵な体験でした。 6年担任

5年伊豆高原移動教室を終えて

10月29日(水)から31日(金)までの3日間、伊豆高原学園移動教室へ行ってきました。

シャボテン公園で動物と触れ合い、星空観測やハイキングでは自然を感じ、東京ではなかなかできない体験をしました。他にもドラム缶ピザ作りや、キャンドルファイヤー、塩作りなど普段なかなかできない体験をすることができました。2泊3日、友達といつもよりも長い時間を過ごし、仲が更に深まった気がします。「楽しかった」の声がたくさん聞こえ、笑顔が見られた移動教室でした。移動教室での学びや深まった絆を大切に今後の生活にもつなげていきたいと思います。

5年

四組 研究授業

11月5日(水)、生活単元学習の研究授業を行いました。「めざせ！インタビューマスター！」という掛け声とともに始まった授業では、4~6年生の5グループが西六郷小学校の教員5名を招いて、自分たちの考えた質問でインタビューをしました。

ここまでにこどもたちは、自己紹介や質問などの練習を重ねてきました。話し方のこつ、聞き方のこつを試しながら、クラスの中で次々と相手を変えながら何回もインタビュー練習を繰り返しました。相手の目を見て話を聞く、相手が言ったことを繰り返しながらうなずく、など細かい点まで練習した成果を研究授業の本番でも出すことができました。

先生の好きなものを聞いた後には、「どうして先生になったのか?」「先生をしていて嬉しかったことは?」など、教師としての仕事についても聞いていきました。今回のインタビューでわかったことを、次は壁新聞にまとめていく予定です。お楽しみに!

振り返りの感想には、「先生のことがよくわかってうれしかった。」「もっとたくさん知りたい。」とありました。3学期には、学校の他の人たちにも広げてインタビューを続けていきます。この活動が、こどもたちの「社会」を自らの手で少しずつ広げていくことにつながるのではないかと期待しています。

四組担任